

市長と話そう！令和8年度 市政懇談会 ～あつやトーク～

日 時	場 所	参加者数
7月23日(木) 18:00～19:30	ゆうばり文化スポーツセンター（若菜）	23名
7月24日(金) 18:00～19:30	紅葉山会館（紅葉山）	37名
7月26日(日) 10:00～11:30	拠点複合施設りすた（南清水沢）	55名

区分	発言内容	回答内容
ゆうばり文化スポーツセンター（若菜）		
総合計画について	総合計画に記載している「前期基本計画」とは、以前の総合計画における実施計画と同じものですか。また、前期基本計画はいつ示されますか。	前期基本計画は実施計画そのものではありません。 総合計画では、基本構想のもとで基本計画を定め、その内容に基づいて実施計画を策定し、具体的な事業を進めていきます。前期基本計画については、策定委員会や庁内での検討内容を踏まえ、第2回の策定委員会で素案をお示しする予定です。
総合計画について	総合計画に記載している「DX」とは何か教えてください。	DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用して行政サービスの利便性を高める取り組みです。例えば、市役所の窓口へ行かなくてもインターネットを介して手続きができる仕組みなどを導入する取り組みなどを指します。
総合計画について	総合計画は地方自治法上の議決事項ではありませんが、なぜ議会の議決を経るのですか。	地方自治法の改正により総合計画の策定は自治体の判断となりましたが、夕張市では、市民の代表である議会にも内容をご理解いただき、市全体で共有した計画としていくため、法に基づき総合計画を議決案件とすることを条例に定めたうえで、総合計画の議決を議会にいただく予定としています。
今後の夕張について	地域コミュニティを維持するため、今後どのような施策を考えていますか。	地域コミュニティの維持・活性化は、市として重要な課題であると認識しています。今後、他自治体の先進事例なども参考にしながら、夕張らしい地域コミュニティを維持・強化できるよう、引き続き検討していきます。
今後の夕張について	財政再生計画終了後の特別職の給料や市議会議員の報酬について、どのように考えていますか。	市長等の特別職の給料については、財政再生計画における大きな節目である再生振替特別債の償還完了後を契機として、一定程度回復していく必要があると考えています。一方で、人口や都市規模など現在の夕張市の状況も考慮し、適切な水準を検討していく必要があります。なお、市議会議員の報酬については、市議会において議論されるものと考えています。市としては、なり手不足が懸念される中、職員や特別職と同様に、適切な水準について検討する必要があると認識しています。 なお、職員給与については、現在実施している給与減額措置について総務省や北海道との協議を進めており、令和9年度から見直しを行えるよう手続きを進めています。
生活感などの公共施設について	鹿の谷生活館の屋根の雪底や積雪への対応など、安全に利用できるよう施設の維持管理について検討してほしい。	公共施設については、今後も安全に利用していただけるよう、適切な維持管理に努めていきます。長く活用していく施設については、管理運営上の課題を整理し、必要な対策について検討していきます。また、公共施設全体のあり方についても、利用状況や施設の老朽化などを踏まえながら、再編や統合を含めて検討を進めていきます。
道道の街路灯について	自宅近くの道道の街路灯がつかなくなってしまう。どのような経緯なのか教えてください。	道道は北海道が管理する道路であり、街路灯についても北海道が設置・管理をしています。北海道からは、交通量に基づく設置基準により街路灯を減らしたとの説明を受けています。市としては、安全確保の観点から、交差点やバス停付近の街路灯は残していただくよう要望もしたところです。現在も「まちが暗くなった」とのご意見をいただいていることから、北海道による地域への説明経過も含めて状況を確認し、地域の皆さんとも相談しながら、今後どのような対応ができるか検討していきます。
紅葉山会館（紅葉山）		
総合計画について	総合計画等策定委員会とはどのような基準で委員を選任していますか。また、より市民の意見を反映するために、何かお考えはありますか。	策定委員会は、福祉、医療、教育、農業、商工業、観光、交通、市民団体など、幅広い分野から推薦いただいた15名で構成しています。委員会については公開で開催しており、傍聴も可能としております。さらに、市政懇談会をはじめ、地域説明会や各種団体との意見交換なども行い、多様なご意見を伺いながら計画づくりを進めたいと考えています。
総合計画について	策定委員会や市政懇談会の実施については、国や北海道へも報告されるのですか？	夕張市が令和11年度まで財政再生団体であることも踏まえ、総合計画等策定委員会や市政懇談会の実施については、国や北海道とも情報共有を行っています。また、日頃から国や北海道と情報交換を行いながら、市の課題や取り組みについて理解を得られるよう努めています。
今後の夕張について	今後は財政再建の期間中に市民が負担してきたことや、生活サービスの維持・向上について、もっと重視すべきではありませんか。	財政再建の期間中は、限られた財源の中で歳出削減を優先せざるを得ず、市民サービスの縮小や施設の廃止など、多くのご負担をお願いしてきました。令和9年度以降は、現在の課題や市民アンケートなども踏まえ、今後どのようなサービスが必要か、また過去に廃止した事業について新たな形で対応できないかなどを検討していきます。
今後の夕張について	水道料金が高い状況について、今後どのように考えていますか。	水道事業は、法律上、水道料金によって施設の維持管理や更新費用をまかなう独立採算制で運営することになっています。夕張市では、人口が急減して利用者が減っている中でも広い範囲の水道施設を維持するため、市の水道料金は高い水準となっています。今後も、安全で安定した水道サービスを維持しながら、効率的な事業運営に努め、経費削減の方策について継続して検討していきます。

区分	発言内容	回答内容
拠点複合施設りすた（南清水沢）		
総合計画について	障がいのある子どもへの支援や夕張高等養護学校との連携について、総合計画ではどのように考えていますか。	総合計画では個別施策までは記載していませんが、障がいのある子どもや障がいのある方への支援についても重要な視点であると考えています。今後、策定委員会などで検討を進める中で、必要な内容を整理していきます。 なお、現在も市では夕張高等養護学校と連携して、学校からの相談窓口の一本化や学校の取組みのPRなど、必要に応じて検討、調整を行っています。また、教育委員会においても、市内小・中学校との交流や教職員同士の連携を進め、障がいのある子どもたちへの支援の充実に取り組んでいます。
総合計画について	コンパクトシティを進める中で、自然、歴史、文化の継承をどのように考えていますか。	コンパクトシティは、市民が暮らし続けるために必要な都市機能を維持・集約していく考え方です。一方で、夕張の自然や歴史、文化は、市の魅力や特色を将来へ引き継いでいく大切な地域資源であり、これらを守り育てていくことも重要であると考えています。 今後も、市の地域資源について、適切な保全や活用に取り組むとともに、市民が親しめる環境づくりについても検討を進めていきます。
今後の夕張について	財政再生団体が、再生振替特例債の償還完了後も3年続くことについて教えてください。	財政再生計画に基づく再生振替特例債（国からの借入金）は、令和8年度で償還（返済）が完了する予定です。しかし、財政再生団体を終了するには、法律で定められた財政指標の基準を満たす必要があるため、借入金を返済した時点で直ちに財政再生団体が終了するわけではありません。その財政指標の基準の算定が過去3年分の平均となるため、終了までには最短でも3年かかる見込みです。
今後の夕張について	財政再生計画に伴い引き上げられた市税や各種手数料は、財政再生終了後に見直されるのですか。	財政の再建に取り組んだ当時、歳出削減とあわせて税率や各種手数料の見直しも実施してきました。現在、令和9年度以降を見据え、税率や手数料、使用料のほか、過去に改定した制度全体について、市民生活や現在の状況を踏まえながら検討を進めています。現時点で決定しているものではありませんが、方向性がまとまり次第、お知らせしていきます。
市外線デマンド交通について	市外線デマンド交通について、高齢者の利用負担の軽減など、より利用しやすい制度にしてほしい。	市外線デマンド交通については、乗継方法の見直し等、絶えず工夫を重ねており、利用者数も増加しています。一方で、現在の制度が完成形とは考えておらず、市外への移動手段の確保や利用しやすい制度については、いただいたご意見も参考にしながら、引き続き検討していきます。